

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分 類コ ード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	べ と 病	白 色 疫 病	灰 色 腐 敗 病	苗 立 枯 病	灰 色 か び 病	黒 か び 病	小 菌 核 病	黒 腐 菌 核 病	紅 色 根 腐 病	黒 斑 病	さ び 病	乾 腐 病	軟 腐 病	腐 敗 病	り ん 片 腐 敗 病	
クプロシールドFL	M1		*i	-																	◎
コサイド3000DF	M1		-	-															◎		◎
ドイツボルドーA水	M1		-	-			◎														
ベニドー水	M1		-	-															◎		
フジドーLFL	M1		-	-													◎				◎
スターナ水	31		7	5														◎			◎
トップジンM水㊟	1		1 *b	*c				◎				◎									
トップジンMゾル㊟	1		1 *b	5				◎													
ベンレート水㊟	1		1 *a *d *e	6				◎		◎	◎								◎	◎	◎
ハチハチ乳	39	劇	1	2	☆	◎															
アフエットFL	7		1	4				◎		◎		◎	◎								
カナメFL	7	劇	1	4				◎		◎		◎	◎								
カンタスDF	7		1	3				◎		◎		◎	◎								
ケンジャFL	7		3	4				◎		◎		◎	◎								
パレード20FL	7		1	3				◎		◎		◎	◎								
ミリオネアFL	7	劇	1	4				◎		◎		◎	◎								
アミスター20FL	11		1	4		◎		◎		◎		◎	◎								
スクレアFL	11		1	3				◎		◎		◎	◎								
ストロビーFL	11		14	3				◎		◎		◎	◎								
ファンタジスタ顆水	11		1 *h	5				◎		◎		◎	◎								
メジャーFL	11		1	3		◎		◎		◎	◎	◎	◎								
ランマンFL	21		7	4		◎	◎														
フロンサイドSC	29		3 *b	5 1			◎	◎	◎	◎											◎
フロンサイド粉	29		*e	1	全	◎								◎	◎						
セイビアーFL20	12		1 *b	3 1				◎		◎		◎	◎								
スミレックス水	2		1	5				◎		◎		◎	◎								
ロブラール水	2		7	3				◎		◎		◎	◎			◎					
リゾレックス粉	14		*f	1						®											
オンリーワンFL	3		1 *b *e	3				◎		◎											
トリフミン水	3		*b *e	1	☆														◎	◎	
ポリオキシシNAL水	19		3	5						◎		◎	◎								
レーバスFL	40		1	2		◎	◎														
バリダシン液5	U18		3	5																◎	◎
キノンドー水40	M1		14	3																◎	
ジマンダイセン水	M3		3	5		◎	◎	◎		◎					◎	◎					
ペンコゼブ水	M3		3	5		◎				◎					◎					◎	

タ
マ
ネ
ギ

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白腐病	灰色腐敗病	苗木枯病	黒かび病	小菌核病	黒腐核病	紅色根腐病	黒斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	りん片腐敗病
オーソサイド水80	M4		1	5		◎			◎	◎							◎	
ダコニール1000FL	M5		7	6		◎	◎			◎								
ベルコートFL	M7		1	5				◎		◎	◎							
リドミルゴールドMZ顆水	M3・4		7	3		◎	◎	◎		◎								
フオリオゴールドFL	4・M5		7	3		◎	◎			◎								
カセット水	31・24		7	5													◎	
マテリーナ水	31・25		7	5													◎	
ナレート水	31・M1		14	3		◎											◎	
ゲッター水㊟	1・10		7	5				◎										
ニマイバー水㊞	1・10		7	5				◎		◎								
アタッキン水㊟	1・25		7	5				◎									◎	
スミブレンド水	10・2		7	5						◎								
ジャストフィットFL	43・40		7	3		◎	◎											
シグナムWDG	7・11		*b	1				◎										
オルフィンプラスFL	7・3		7	3		◎	◎	◎		◎		◎						
ベジセイバーFL	7・M5		1	3		◎		◎		◎		◎						
ホライズンDF	11・27		7	4		◎		◎										
アミスターオブティFL	11・M5		3	3		◎	◎											
ゾーベックエンテクタSE	21・49		7	4		◎				◎								
ドーシャスFL	21・M5		7	2		◎				◎								
スイッチ顆水	9・12		7	4						◎								
カスミンバリダシン液	24・U18		1	3													◎	
カスミンボルドー水	24・M1		7	5													◎	
アグリマイシン-100水	25・41		7	5													◎	
ジャストミート顆水	12・17		1	3						◎								
ベトファイター顆水	40・27		7	3		◎	◎											
フェスティバルC水	40・M1		7	3	3	◎	◎											
カンパネラ水	40・M3		7	3		◎	◎											
ベネセット水	40・M3		7	3		◎	◎											
カーニバル水	40・M5		7	3		◎	◎			◎								
プロポーズ顆水	40・M5		7	3		◎	◎			◎								
カーゼートPZ水	27・M3		3	3		◎	◎											
ブリザード水	27・5		7	3		◎	◎			◎								

㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊞:ペノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊞は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。*a:移植直前3分間苗根部浸漬 *b:定植直前 *c:6回以内(但し定植後は5回以内)

*d:播種前(育苗培土混和) *e:定植前 *f:播種前 *h:定植直前(5分間苗根部浸漬、または5分間セル苗浸漬) 全:全面土壌混和 *i:発病前~発病初期 (R):リゾクトニア菌による病害

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タマネギ(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(回数)	使用回数	使用条件	アザミウマ	アブラムシ	ハモグリバエ	タマネギバエ	タネバエ	シロイチモジヨトウ	ネギコガ	ネギリムシ	コガネムシ	ケラ	コロギ
						類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
オルトラン水	1B		21	5		ギ		ネ								
サイアノックス乳	1B		14	3		◎										
ジェイエース溶	1B		21	5		ギ										
シヨットガン乳	1B	劇	21	2		ギ										
スミチオン乳	1B		21	2		◎	◎									
ダーズバン乳40	1B	劇	21	2		ギ		ネ								
ダイアジノン乳40	1B	劇	21	2		◎	◎									
ダイアジノン粒5	1B		*a	2					◎	◎					◎	◎
			30						◎	◎				幼		
マラソン乳	1B		7	6		◎	◎	◎								
アグロスリン水	3A	劇	7	5		◎										
アグロスリン乳	3A	劇	7	5		◎		ネ			◎					
アディオソ乳	3A		7	5		◎				◎		◎				
ガードベイトA粒	3A		*b	5									◎			
			*c	5									◎			
スカウトFL	3A	劇	1	5		ギ										
ゲットアウトWDG	3A	劇	7	5		◎		ネ								
ペイオフME液	3A	劇	14	4		ギ										
マブリックEW	3A	劇	7	2		ギ										
アドマイヤー顆水	4A	劇	*d	1	☆	◎										
			14	2		◎										
ベストガード溶	4A		1	2		◎										
モスピラン顆溶	4A	劇	7	3		◎										
ディアナSC	5		1	2		◎		ネ		◎	◎					
アグリメック乳	6	劇	14	2		◎		ネ								
アニキ乳	6		1	3						◎	◎					
コルト顆水	9B		1	3		ギ		ネ								
パダンSG溶	14	劇	1	3		◎		◎								
リーフガード顆水	14	劇	3	3		◎		◎								
カスケード乳	15		3	3		ギ		ネ								
ハチハチ乳	21A	劇	1	2		◎		ネ								
アクセルベイト粒	22B		1	3									◎			
ベネビアOD	28		1	3		◎		◎		◎	◎					
ウララDF	29		7	2		ギ										
グレーシア乳	30		7	2		ギ		ネ								
ファインセーブFL	34	劇	3	3		◎										
プレオFL	UN		3	2		ギ				◎	◎					
ビリーブ水	3A・15	劇	7	3		ギ										

*a: 播種時又は定植時 *b: 定植前 *c: 生育初期 *d: 定植前日～定植時

ギ: ネギアザミウマ ネ: ネギハモグリバエ 幼: 幼虫

☆: セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タ
マ
ネ
ギ

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 雨よけ栽培を行う。 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 プロポーズ顆粒水和剤 1000倍 ホライズンドライフロアブル 2500倍 リドミルゴールドMZ (顆水) ● 500～1000倍 全身感染している株は、早期に抜きとり処分する。 	ネギの同項目参照 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	
黒斑病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。 発生前から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ペンコゼブ水和剤 400～600倍 ロブラール水和剤 1000倍 	ネギの同項目参照
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を残さないようにする。	
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	
	苗床期	・苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。	
	定植期	・アブラムシ類の項を参考にアブラムシ類を防除する。	
灰色腐敗病	播種前	・有色種を栽培する。	収穫期(4月下旬)に多雨のときや貯蔵中に発生が多い。白色種に発生多く、有色種に少ない。有色種も有色の外皮をはぐと感染しやすくなる。
	生育期	・発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スミレックス水和剤 1000倍 セイビアーフロアブル20 1500倍 ベルクートフロアブル 1000倍	
	収穫期・貯蔵中	<ol style="list-style-type: none"> 晴天の日に球を傷つけないように収穫し、よく乾燥させて冷風で風通しのよい所に貯蔵する。 貯蔵中の発病球はすみやかにとり除く。 	

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	生育期	・発生を認めたら、初期に次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍	春季に雨が多いときに多発しやすい。
アブラムシ類		1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきでは発芽揃～6月上旬、秋まきでは発芽揃～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置してアブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤 1000～3000倍	
ネギアザミウマ	生育期	1. 反射性マルチを使用する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ディアナSC# 2500～5000倍 マブリックEW 3000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	#アザミウマ類での登録
タマネギバエ・タネバエ	播種時または定植時	・次の薬剤を散布する。 ダイアジノン粒剤5 3～5kg/10a	作付前は、全面又は作条に散布し、土壌混和する。 作物生育中は、作条処理して軽く覆土する。